

参加者アンケート結果の概要
沖縄版・企業支援によるコロナへの挑戦 ー事業者支援態勢の強化ー(セミナー)
【令和5年2月21日開催】

1. 役立度について (回答数 : 32)

大変役に立った 65.6%

役に立った 34.3%

- 【凡例】
- 1.大変役に立った
 - 2.役に立った
 - 3.あまり役に立たなかった
 - 4.役に立たなかった
 - 5.どちらともいえない

2. 理解度について (回答数 : 32)

よく理解できた 75.0%

ある程度理解できた 21.9%

あまり理解できなかった 3.1%

- 【凡例】
- 1.よく理解できた
 - 2.ある程度理解できた
 - 3.あまり理解できなかった
 - 4.全く理解できなかった
 - 5.どちらともいえない

3. ご意見・ご感想

【どの部分が役に立つとお考えでしょうか。】

- ・事業支援メニューの豊富さと、キュレーター力の必要性を実感した。
- ・「変わらないために動き続ける。」の部分が役に立った。
- ・経営者保証徴求の厳格化の部分が役に立った。
- ・企業支援(本業支援)の金融支援の今後に役立てることができる。
- ・キュレーター的人材の必要性・重要性(金融機関が担う役割は大きい)。
- ・業種別支援の着眼点を理解することが重要であることを認識した。
- ・顧客に寄り添った支援を取り組み実践したい。
- ・沖縄の支援メニューを体系的に知ることができた。知らないメニューもあった為、今後活用を検討したい。
- ・業種別支援の着眼点では、事業者に寄り添うことの大変さと難しさについて実体験を元に話があり勉強になった。
- ・目線をどの立場からとるべきか、「事業者の立場である」が参考になった。
- ・支援する担当、支援メニューの活用方法や心構えについても理解できた。
- ・支援メニューは、業務ですぐに使えるのでありがたい。
- ・指摘ばかりではなく具体的な提案、伴走支援が実施できる体制が必要。
- ・支援における着眼点や、アドバイス実施時には具体的な提案が必要(重要)であることを確認できた。
- ・知らなかつた支援メニューもあり、参考になった。
- ・事業支援に係る基本的な姿勢や知識(支援策)を学ぶことができ良かった。
- ・日頃、支援取り組みにおいて感じていた課題であるが、「どうやってやるの」といった方法論が難しい、一緒に取組む場合どうすればよいか悩んでいる。
- ・支援体系図は、顧客にも解かりやすく、補助金スケジュールも活用できると感じた。
- ・支援メニューが体系的に整理された資料があり、活用していく内容であった。
- ・キュレーター力の必要性等。これまで、「よろず支援拠点」や「補助金」の案内に留まっていたことから、今後の営業活動の幅が広がった。
- ・銀行員に求められている行動・考え方整理できた。
- ・事業所に寄り添った支援が大事。
- ・金融支援以外の支援策について整理されている資料を探していた。「ビジネスステージ毎の支援体系図」は参考にしたい。
- ・お客様の価値を高める為に寄り添った支援を行って参りたい。

- ・金融機関としての支援のあり方、キュレーター力の必要性については、自行でも伝えていきたい。
- ・支援機関としてどのように支援するか等、より具体的なアドバイスと支援者に求められる7つの力が参考になった。
- ・「お客様の視点に立つこと」、「自分で捉えること」が印象に残った。
- ・それぞれのビジネスステージにあった有効な提案ツールや支援機関を体系的に知ることができた。
- ・業種別支援の着眼点は、知識がない職員、時間がない職員でも直感的に理解する事ができる。
- ・他の金融機関と意見交換する機会が得られて有意義だった。
- ・キュレーター力について、資料中に参考となる情報があるので活用したい。
- ・業種別支援の着眼点を活用したい。
- ・マクロ的な説明とミクロ的な説明があり、解かりやすかった。
- ・事業者支援の説明は時間が欲しかった。
- ・金融機関に求められる職員の能力が必要であると痛感した。
- ・ケーススタディを多く盛り込んでいて、自分で考えて考えることができた。
- ・伊波社長のワークショップの中で、金融機関の枠組みの中だけで考えているなど気付かされた。本当の「顧客第一主義」とは何かを常に考えなければならぬと考えさせられた。
- ・改めてキュレーター人財の必要性を感じた。
- ・地域行政の視点のほか、キュレーションの役割、業種別の見方まで体系的に学べたと思う。
- ・各金融関係機関で連携していく事。

【その他ご意見等】

- ・時間が短い、詰め込みすぎ感あり。
- ・多くの事業者をサポートしましょう。
- ・時間がもう少し欲しい。
- ・半日のセミナーとしてはボリュームがありつつもコンパクトで良かった。
- ・ワーキンググループの構成員としては、金融機関のみの対応が適していると思う。専門業務を行っている機関の参加は、若干そぐわない感がある。
- ・中小企業に対する支援は、「事業者がすぐ行動できるくらい具体的にアドバイスすること」というのはその通りだと感じた。一方で、銀行員としてどこまで具体的なアドバイスができるのか難しさを感じた。支援機関との連携が重要だと思う。
- ・大変、有意義な研修だった。
- ・お客様の目線や立場に立って、具体的な方法や手続きを提案しないと本当の支援とは言えない。「自分ができない事を、お客様にアドバイスみたいに言ってはいけない」という言葉が響いた。大変勉強になった。